J-net 2001年特集

「２１世紀に思う」

那須　繁男

２０世紀は物質文明、経済の発展のテンポが非常に早かった世紀だったと思う。２０世紀はじめにライト兄弟の飛行機がやっと飛んだのに今や宇宙時代となった。経済にしても特に後半５０年はものすごかったと思う。特に日本ではいわゆる中産階級が飛躍的に増えたと同時に失ったものも多くあった。その中で最も大きかったものは心ではなかったろうか。思いやりの心を失った事は非常に残念である。ギスギスした世の中になったのではないか。

そこで２１世紀は心の豊かさを取り戻す世紀であって欲しい。科学の進歩も必要であるが科学そのものは冷たいものである。しかしその中に思いやりの心を持って頑張っていきたいと思う。地球全体がそうなれば二一世紀は必ず明るい世紀となると確信する。

「２１世紀への期待」

土屋　[illegible]

二十世紀は第一次、第二次世界大戦やその他の地域紛争が起こり人類は悲惨な経験をした。自然科学が発達し、戦争は科学技術をさらに促進しその成果がまた武器として利用され究極には原水爆などの悪魔の兵器として使用された。また医学や生物学の進歩により人間の寿命、特に日本人の平均寿命は飛躍的に伸び少子高齢化社会となった。今後この傾向はさららに強まる。その他環境問題の悪化や凶悪犯罪の増加など将来に対する展望は決して明るいものではない。来るべき二一世紀はこのような問題を叡智で解決し人間のエゴをなくして相互理解による協力と思いやりのある社会を実現させ希望の持てる世紀となって欲しい。

残したいこと

鈴木　重四郎

新年の抱負などあらためて言われると思い当たるものはない。所詮新年を迎えることは、線香臭いのが益々線香臭くなるのでいやなのであるがそれには逆らえない。線香臭さが未だ残っている間に、生意気の様だが、世の中に何かを残しておかねば、と考えた時に、私として何が出来るのだろうか。

私として出来ることは、地域の人達と楽しく明るく過ごしながら、ハーモニカをツールにして寄り合いの場を作り、ハーモニカを奏することを学びながら、世間話しをすることかと思っている。

そして私達がハーモニカを始めたきっかけは、小さい時に聞いたハーモニカの音色が、脳に残っていたからであった様に、ハーモニカの音色を、小さい子供たちの脳に少しでも残しておき、大きくなった時、あのハーモニカのおじさんを思い出してもらえる様な事をやって見たい。

カタカナ言葉（どちらが正しいですか？）

文芸春秋「新年特別号」より抜粋

【バーチャル】　１、垂直の、あるいは直立した
　　２、実体を伴わない仮想的、擬似的な
【デポジット】　１、飲料容器などの回収方法の一つ
　　２、古紙の回収
【シーリング】　１、軍事上意味のある海域
　　２、決められた価格などの最高限度
【オンブズマン】１、行政活動を監視する人
　　２、背中に子供を背負った人
【ドナー】　１、移植手術士
　　２、臓器などの提供者
【レトロ】　１、昔風のものを懐かしむこと
　　２、袋に入った冷凍食品
【ミニマム】　１、ミニスカートの極端に短いもの
　　２、最小限度の
【リニューアル】１、商店街などの大売出し
　　２、店などの全面改装
【ストーカー】　１、路上生活者
　　２、異性などを執念深くつけ回す人
【インフォームドコンセプト】
　　１、医師による説明と患者や家族の同意
　　２、電気器具の電力を取り出すシステム
【クローン】　１、一個の細胞から生物を複製する技術
　　２、人口受精技術
【アメニテイー】１、人口降雨実験
　　２、都市や住宅の生活環境の快適さ

「顔文字」の喜怒哀楽

パソコンで使われている「顔文字」。
表現豊かな「顔文字」に人生の喜怒哀楽を感じる。

笑　い　；　(^.^)　(^o^)　((⌒ー⌒)　(⌒○⌒)
泣　き　；(;_;)　(・_;)(;_;)　(;_;)(>0<)　・
驚　き　；　(°o°)　w(°O°)w　＼(◎o◎)／！
汗　　；　(^_^;)　(=_=;)　(・_・;)　(^_^ゞ
バイバイ；　(^^)/~~~　(^o^)/~~~　ヾ(^-^)
踊　る　；　(^o^)(^o^)　＼(・o＼)(／o・)／
タバコ　；　(^^)y-~~~　(^o^)y-~~~　~~~-y(x.x)。o0○

喜　び　；　＼(^^)／　＼(^o^)／　＼(^▽^)／
怒　る　；　(｀´)　<(｀＾´)>　(｀´)ノ☆(((*;・
お辞儀　；　m(_ _)m　(°°)(。。)　(^.^)(-.-)(_ _)
痛　み　；　(>_<)　(+o+)　(@_@)　(　*_*;
お休み　；　(-_-)zzz...　(-_-).。oO　(_ _)zzZZ
書　く　；　〆(..)　(..)β
キ　ス　；　(* ^)(^ *)　(^_-)(^ *)

J-net 2001年特集

新世紀に思う

藤本　欣正

新世紀を迎えて心新たにと云っても、変わり映えしたことが出来るわけではないが、
昨年より参加することになった「環境を創る日立市民会議」の行事に加わり、広く環境について勉強すると共に、微力では有るが環境にやさしい生活や行動をし、経済優先で我々の世代が壊した自然環境を少しでも修復出来ればと考えて居ります。

自分で身近に出来ることは、まずごみの減量、ＣＯ２を減らすためのエネルギーの節約で、これに関して健康のためも含め、歩くことと自転車の利用である。

また家庭菜園での農薬使用を極力控え、有機肥料主体で前にも書いた「虫も食べる野菜」作りを続けて行きたい。

あとの課題は、始めたばかりのパソコンの使用技術の習得である。

楽しいと感動！！そしてプレッシャーの間で

地域福祉に軸足を

佐藤　弘

新しい世紀の年が明けました。J-net の新たな形での、大きな飛躍を期待しましょう。
昨年は実に多くの経験をさせてもらい、多くの方との出合いもあり、充実した１年でした。
しかし、反面少し八方美人的にいろいろなことをやり過ぎてきたかな・・・との反省もあります。

今年は、ここ２年間体験してきた地区社協活動・ボランテイアなどの地域福祉にもう少し軸足をしっかり踏まえ、自分のライフワークを少しづつ確実なものにしていきたいと考えています。

楽しみと感動を感じることは、正に生きがいです。またプレッシャーも心身の緊張という面では大切です。これをうまく調和させ、活力のある生活の実感を感じていきたいと思っています。

２１世紀の憂うつ

桑名　勇児

新世紀を迎えて憂うつとは何事か、希望に満ちた抱負を語りなさい！ と言われそうであるが一人位は許して貰おう。

少子・高齢化の問題が叫ばれて久しいが、人口バランスは益々悪くなっている。
社会に貢献した中高齢者が生活を楽しみ、長生きすることは悪ではないと思う。少子化が問題なのである。
最近、「パラサイト・シングル」という言葉が使われている。学校を卒業しても親と同居し、生活面も親に依存している未婚者のことを指すらしい。遊ぶのに困らないだけの時間とお金があるパラサイト・シングルは大変な数らしいし、増加しているようだ。これではとても少子化に歯止めはかからない。２１世紀の日本にとって、人口のアンバランス、特に、少子化は滅亡の危険すらあるように思えてならない。

２１世紀！

梅津　隆

これからの百年のために頑張ろう
J-net の皆さんと一緒に
子･孫のために！　大好き日立のために！
地球のために！　そして全宇宙のために！

ミレニアムの生きがい

奥野　貞治

私は会社を定年退職して６ヶ月、当初今までの生活習慣からなかなか抜けきらず、これから何をしたらいいか悩み模索し、時には孤独で無力感に陥りそうになりました。再就職もできず、きびしい現実に直面していた矢先、熟年研究会入門講座を知り、さっそく受講、回を重ねるごとに講義に感銘を受け、多くの人との交流もできました。楽しい日立再発見もでき、実践的な講義を聴講して勉強になりました。

２１世紀になっても、ますます少子高齢化時代に迷と国・地方の借金財政が重く、低収入、高負担、一変わりなく、景気低方で犯罪などの社会不安、子や孫の世代に対して、ゆとりある生活ができるのか心配は尽きません。精神的に心豊かに生きる手助けをしてやるためにも、私たちはやるべきことが沢山あり、まだまだボケてはいられません。人のため世のため健康に許す限り、地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加したいと思います。

J-net 2001年特集

２１世紀を迎えて思うこと　大川原友吉

科学･技術の発展がめざましい２０世紀は終わった。“心の時代”の呼び声が高い２１世紀が始まった。医療分野ではクオリテイ･オブ･ライフ＝Quality Of Lifeという言葉が使われている。直訳すると「生活・生命の質」ということになる。科学・技術の力でグイグイ引っ張るということではなく､患者の心と調和を図り、自主・自立性を尊重するということである。そこには根底に“思いやりの心“がある。Quality Of Lifeの意味を広く、深く捉え、２０世紀末に既にシニアを迎えた私は､次代を担う人達に､身をもって”心の時代“を示したいと思うし、この様な心を持った仲間を増やしていくよう行動したいと思う。

流れを作ろう　山川　敏夫

リタイアする時には誰でも、美辞麗句の訓を戴き、まるで聖人の完成か､はたまた技術の頂点を極めた人かとして最後の一日を終えるが､翌日からは天涯孤独の身となる。

過去の栄光、それは凡人にとって急速に風化してしまう谷底の化石でしかない。さあ、石は石なりに意思をもって転がってみよう、突き当たったらごめんなさい！一緒に転がりたいならどうぞ！面白いから当たってみよう！石は置いただけでは仕事をしない。転がり、そして流れなければダメ。そんな石の流れがJ-net。流石（さすが）である。シニア、それは自己実現の期である。容易に楽しく達成できる努（つと）を持ち、喜びを生きがいとし、有言実行率先を範とする大きな流れをみんなでつくる２００１年としたい。

葉隠より　嶋野　末吉

「葉隠」という書物がある。１７１０年（宝永７年）佐賀の藩士山本常朝が、後輩に語った内容を取りまとめた本である。その中に「武士道というは死ぬ事と見付けたり」という有名なことばがある。

現役時代、仲間との読書会に取り上げたこともあるが、何を話し合ったかは記憶にない。

しかし、このことばの後で､「人間一生誠にわずかの事なり。好いた事をして暮すべきなり。夢の間の世の中に、すかぬ事ばかりして苦を見て暮すは愚かなことなり。この事は、悪しく聞いては害になる事故、若き衆などへ語らぬ奥の手なり」とある。

平成の今日、私も定年を迎えてくる後輩たちに、やはり同様なことを話している。安直に好きなことだけして暮らすことではない、とは話すが、三百年ちかく経た現在でも、人間はあまり変わっていないのかも知れない。生涯学習の先生には、山本常朝を呼び、話を聞く方が新鮮味があろうかと思う。

苦笑しきり。

ありがとう　田岡　静子

来年は身のほとりに起きることがらに､無理をせず､ていねいにかかわってゆきたい。

そして小さい事だが、知らない人にも一声かけることを心掛けよう。朝、バス停で先に待っている人が居たら「おはようございます」と言おう。相手がニコリとしたら「寒いですね」くらいは言おう。変なおばさん、と思うわれてもいいから、若い人にも言おう。重そうな荷物を持っていたら「手伝いましょうか」と言ってあげよう。バスやタクシーをおりる時、買物をして店を出る時「ありがとう」や「御世話様でした」と言おう。

言葉は潤滑油だから。

２０００年から２００１年へ

不二佐喜

２０００	✈✈✈	２００１
熟年研究会	✈✈✈	１つの心になって
シニアライフ講座	✈✈✈	２コーラスの実現
帯状疱疹	✈✈✈	３Ｋの完全実施
		（快話、健脚、快食）

☆☆☆　一つの心で喜んで人を助ける　☆☆☆

２１世紀の抱負　三代　きみゑ

明けましておめでとうございます。

心清らかに温かく会員皆んなで手をつなぎ、

今年もたのしいJ-netの会であります様頑張りたいと思います。

お世話様になりますが、どうぞよろしくお願い致します。